



令和8年10月1日

## 0 歳児の集団

9月は天候が悪い日が多く、なかなか戸外に出ることが出来ず室内で過ごすことが多くありました。子どもたちは、自分の好きな絵本やおもちゃを選んで遊んだり、取れないときは「ん、ん」と声を出して保育者に「取って」とアピールしています。そして友だちの存在を意識するようになってきて、お互いの顔や動いている様子を興味深く見てじっと見つめ合い笑い合ったり、1人が声をあげると他の子も声を出す、ハイハイをすれば同じようにするなど声や動きの連鎖が出てきています。また、同じおもちゃに興味を持つことも増えてきて1人が使っていると同じおもちゃを欲しがったり、真似をして触ろうとして取られたくなくて声を出したり、近くにいる友だちを手で押したりすることもあります。まだ言葉が出ない子どもたちにとっては、今は声を出したり、押してしまうことが精一杯の自己表現です。そんな姿もそばで保育者が見守り「嫌だったね」「おもちゃが使いたかったんだね」と子どもの思いを言葉にして代弁しながら丁寧に関わるようにしています。入園してから半年が経ち、0歳児なりの友だちとの関わりや集団ができ始めています。幼児のような「ルールのある集団行動」というよりは、保護者や保育者との関わりだけでなく、遊びの中で友だちの姿を見て「おもしろそう」「やってみたい」という意欲が引き出され意欲の育ちにつながり、0歳児なりに周りの友だちと刺激を受け合っています。今後も保育者や友だち、おもちゃなどの物を通して人との関わり方や思いを言葉にしながら、少しずつ0歳児の社会性・集団を意識しながら過ごして行きたいと思います。



### <今月のねらい>

- ・身の回りのものに興味を持って散歩を楽しむ。
- ・保育者と一緒に手遊びや音楽遊びを十分に行う。

### <活動内容>

- ・散歩(線路沿い、徳石通り南広場、本町公園、石川橋公園、本園など)
- ・体操あそび・ふれあい遊び



10月18日(土)は運動会です。

0歳児は、親子競技に参加します。競技終了後、解散となりますので、よろしくお願いします。

### ★靴の選び方のポイント★

自分でやろうとする力を育てるために、靴を選ぶ時のポイントです！参考にしてみてください。

1. 「ガバッと開く」マジックテープ1本ベルト(太め)  
子どもが片手で掴みやすく、一度の動作でしっかり留められます。
2. 履き口が大きく開く  
ベロ(タン)が奥に倒れて足入れがスムーズなものを選ぶと、子どもが途中でイライラせず最後まで自分で履きやすくなります。
3. 「動きやすさ」が自信につながる軽くて曲がりやすい靴底

広い場所で思いきり走れる、指の付け根でしっかり曲がる靴は、「もっと動きたい!」という意欲を育てます。